

金城大学 地域包括連携センター
金城大学短期大学部 地域連携・貢献センター

活動報告書

遊学の樹

Yugaku no Ki

金城大学 / 金城大学短期大学部では、
本学の教員・学生が中心となって、さまざまな
社会貢献活動・地域連携の取り組みに参加しています。

2022年度公開講座



大学・短期大学部共同で開催している事業です。本学が持つ教育資源を広く地域社会に解放し、地域の皆様に学習の機会を提供するとともに地域間の交流を深める活動を行っています。今年度は対面とオンデマンドの2種類に分けて全15回の講座を開催しました。

2022年度に実施した金城大学・金城大学短期大学部における地域連携に関する取り組みをご紹介します。

KINJO健康キャンパス



連携協定を締結しているイオンモール白山、白山市と連携し、3学部の学生が多職種連携チームを組み、地域住民の健康維持増進のための活動を実施しています。

イオンモール白山を利用して、モールウォーキングやレクリエーション活動を行い、日ごろの運動不足解消などに努めています。

第45回千代女あさがおまつり



本学美術学科と白山市農業振興課が共同し、白山市内で毎年開催されている「千代女あさがおまつり」のポスター制作を行いました。選出されたポスターは、千代女あさがおまつりの場内で掲示され多くの方々に見ていただきました。

キッチンカー



白山市からお借りしたキッチンカーを利用して、キッチンカーを使用して白山市鶴来町にてコーヒースタンドを出店しました。人口減少、少子高齢化、伝統産業・商業の不振、北陸鉄道石川線の一部廃線によるまちなか来訪者数の減少、空き店舗の増加等の課題を抱える鶴来に若者を呼び込み、活気を取り戻すことを目的に活動を行いました。

白山菊酒クッキー



ビジネス実務学科の学生がゼミナール活動の一環として、白山市地産地消課や地元の和菓子の老舗「田中屋」と共同で「白山菊酒クッキー」を開発・販売を行いました。白山市の特産品である「日本酒」を使用した商品開発を試み、「酒クッキー」の製造をしました。パッケージには、美術学科がデザインし、学科の垣根を超えた活動となりました。また白山菊酒クッキーは、田中屋や本学売店、日本ジオパーク全国大会白山手取川大会のいいとこ白山フェア「マルシェ・ドゥ・ハクサン」にて販売しました。このお菓子は、インパクトもあり栄養的にも優れているため、「金城短大の顔」となることを期待しています。

北國健康生きがい支援事業



健康につながるメンタルヘルスの管理 ～危機の克服と予防～



ある調査によれば、「生きがいを持っている人は、ストレスに強い。」と言われています。そのためには、ストレス対策のカギは自分を振り返る物差しを持つておく必要があります。それでは、自分の生きがいや人生観を明らかにするにはどうしたらよいか、また、危機を乗り越えていくためにはどうしたらよいか。これらの解決の糸口として、今回、「(アウシュビッツの地獄を描いた)『夜と霧』で有名な精神科医V.E.フランクル原案による『生きがい』測定テスト(Purpose in life test:PILテスト)を紹介しました。PILテストは、患者の「生きがい感」、つまり病氣や困難をこえて前向きに生きていこうとする意欲を測定し、このテストのもとになった人間観について紹介し、その活用について解説しました。



9月24日に金城大学プログラム「北國生きがい支援事業(主催:本学・北國新聞社)」を開催しました。本学看護学部 岩城直子教授が講師となり、「健康につながるメンタルヘルスの管理～危機の克服と予防～」をテーマに講演しました。ある調査によれば、「生きがいを持っている人は、ストレスに強い。」と言われています。そのためには、ストレス対策のカギは自分を振り返る物差しを持つておく必要があります。それでは、自分の生きがいや人生観を明らかにするにはどうしたらよいか、また、危機を乗り越えていくためにはどうしたらよいか。これらの解決の糸口として、アウシュビッツの地獄を描いた「夜と霧」で有名な精神科医V.E.フランクル原案による「生きがい」測定テスト(Purpose in life test:PILテスト)を紹介しました。PILテストは、患者の「生きがい感」、つまり病氣や困難をこえて前向きに生きていこうとする意欲を測定し、このテストのもとになった人間観について紹介し、その活用について解説しました。参加された方自身の「生きがい感」が分かり大いに盛り上がりました。

第16回保健・医療・福祉創造フォーラム



金城大学プログラム「第16回保健・医療・福祉創造フォーラム(主催:本学・金城大学後援会・北國新聞社)」を11月12日に開催しました。公立松任石川中央病院・外来2ブロック看護師長の村井あずさ氏を講師にお招きし、「人生の最期まで自分らしく豊かに生きるために～人生会議(ACP)と医療・ケア～」をテーマに、講演会とシンポジウムを開催しました。

近年、医療の急激な変化において、万が一のときに備えて自分はどうかありたいかを考えておくことが注目されるようになりました。最期にはどのような医療やケアを望むか、本人による意思決定を尊重し、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームと話し合い共有するアドバンス・ケア・プランニング(ACP)について、ご講演いただきました。死期が迫る終末期において、家族が受けたい医療について当人と家族が話し合う「人生会議」を日ごろから行うよう呼びかけました。

シンポジウムでは、社会福祉学部・社会福祉学科の内慶瑞教授、看護学部・看護学科の山瀬勝巳講師にシンポジストとして、ご自身の経験を踏まえた内容を紹介し、会場が盛り上がりました。対面とオンラインのハイブリット形式で開催し、多くの方にご参加いただきました。会場からも多くの意見が寄せられるなど大変有意義な講演会となりました。

ビーサンとばしin徳光海岸～SDGsで海を学ぼう！



8月27日に、白山市・千代野公民館・クリーンビーチいしかわ・本学の産官学民連携におけるSDGs活動である「ビーサンとばしin徳光海岸～SDGsで海を学ぼう!」を開催しました。

産官学民連携事業となる本件は、海岸清掃・稚魚放流・ビーサンとばし交流会を通じてSDGsについて考える機会となりました。SDGsは、経済・社会・環境の三側面を回していくことであり、参加者からも、「このような形でSDGsに触られたことは、大変よかった」とのお声をいただきました。

海岸清掃

参加者全員で徳光海岸の海岸清掃を行い、約50袋のゴミを回収しました。白山市SDGs推進大使である「ぶんぶんボウル」にも参加していただき、海岸にゴミがあることで怪我を負う危険性があることを、子どもたちに分かりやすく伝えていました。

ビーサンとばし大会

最後に、レクリエーションとして、3人1組で高得点を狙うビーサンとばし交流会を行いました。子どもたちと一緒に本学の学生も参加し、初めて挑戦するビーサンとばしに苦戦しながらも真剣に取り組む様子がかがえました。最長記録者には「ぶんぶんボウル」賞が授与されました。

稚魚の放流

海岸清掃後、国土交通省から、徳光海岸についての歴史などを踏まえた講話や水産総合センターによるSDGsについての簡単な説明がありました。その後、稚魚1500匹(クロダイ)を海に放流しました。参加した子どもたちは、「大きくなーれ!」とクロダイに声をかけて、普段できない体験を楽しんでいました。

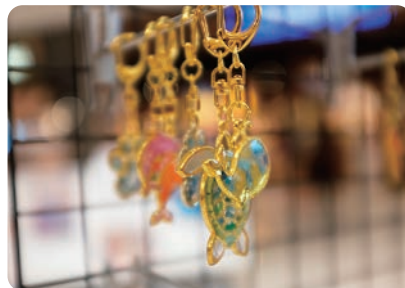
本学のSDGs活動はこちらから!→



SDGsの取材を受けました! 実際の映像はこちら!→



海を救おう大作戦



ビジネス実務学科 廣瀬ゼミの学生がSDGs活動の一環として、海洋ごみを利用し、アクセサリ製作を行いました。海洋ごみはペットボトルが非常に多く、それらを細かく砕き、アクセサリとして活用しました。また、イオンモール白山内でお手製のパーツを使ったオリジナルの写真立てを子どもたちと作成するワークショップを開催し、アクセサリも販売しました。

KINJOおやこひろば たんぱりん



KINJOおやこひろば「たんぱりん」は、社会福祉学部 子ども福祉学科と短期大学部幼児教育学科の大短連携事業として今年度開設された金城子育て支援センターが運営する子育てひろばです。地域のお子さんご家族が気軽に集い、ひろばスタッフや学生と自由に楽しく過ごせる場を提供しています。2022年度は5月から週1回(木曜日)を原則として開催しました。

たんぱりん
HPIは
こちらから→



なぜなぜかるた



子ども福祉学科の学生と白山市地産地消課が連携し、幼稚園や保育園の園児たちに対して地元食材を知ってもらい、またその食材を消費していくことの大切さを伝えることを目的に、「なぜなぜかるた」を制作しました。今後は、「なぜなぜかるた」を幼稚園や保育園で実演しながら、園児たちに地元食材を身近に感じてもらえるよう活動していきたいと思ひます。

VORABO表彰



【受賞の様子】

2013年2月、白山市白峰地区の除雪活動と雪だるまイベントに社会福祉学部4年生3名が参加したことが災害時支援サークルVORABO誕生の緒となり、同年4月に設立、今日までの10年間、災害支援活動に携わってきました。

被災地での活動

2011(平成23)年8月	3泊4日	岩手県陸前高田市	設立前
2012(平成24)年7月	3泊4日	岩手県陸前高田市	設立前
2012(平成24)年9月	2泊3日	岩手県陸前高田市	設立前
2013(平成25)年9月	3泊4日	岩手県陸前高田市	
2014(平成26)年9月	3泊4日	岩手県陸前高田市	
2015(平成27)年9月	3泊4日	岩手県陸前高田市	

2016(平成28)年8~9月	2泊3日	岩手県陸前高田市
2017(平成29)年9月	2泊3日	福島県いわき市小名浜
2018(平成30)年9月	2泊3日	福島県いわき市小名浜
2019(令和元)年9月	2泊3日	福島県いわき市小名浜
2019(令和元)年11月21日		長野県長野市千曲川流域

地域・研修活動

- 雪すかしボランティア 白山市内
- 白山市災害ボランティアセンター連絡会への参加・活動報告
- 災害ボランティア体験入門講座の学内開催・受講(述3回) 石川県災害ボランティア協会
- 白山市災害ボランティアセンター設置・運用訓練への参加
- 石川県学生災害ボランティア連絡会への参加
- 熊本募金(学内) ほか

このような活動を地道に継続した甲斐があり、2022年10月、第18回白山市社会福祉大会で白山市社会福祉協議会長賞を受賞しました。今後も、研修や訓練、被災地支援に取り組みます。

職業実践力育成プログラム (Brush up Program for professional「BP」)



この教育プログラムは、本学の保護者養成課程における保護者支援力養成の特別コースであり、文部科学省の職業実践力育成プログラム (BP) に認定されています。

本コースは、「保護者支援・子育て支援」のキャリアアップ研修に対応し、保護者に対する相談援助の具体的な技法や地域における子育て支援等について学び、専門性を高めることができます。また、今年度は7人が受講しています。

新・金城イルミネーション2022「KINJO バイブス全開!2022」



金城大学 笠間キャンパスでは、2018年度からペットボトル型LEDライト「ペットボトル」を利用して、「新・金城イルミネーション」を展開しています。今年度の金城祭のコンセプト「バイブス全開!」を意識した「KINJO バイブス全開!2022」をテーマとし、12月16日にオープニングイベントを開催しました。ウィズコロナ時代において、元気や笑顔を絶やさないと、大学と短大、キャンパスの過去と未来、学生と教職員、大学と地域など、KINJOに関係する様々な想いを、イルミネーションの手作り感のある温かい明かりを通じて広がっていくことを願い、当事業を実施しています。

こびとづかん



イオンモール白山周年記念事業「白山手取川ジオパークPR強化キックオフセレモニー」の一環として「白山手取川ジオパークこびとづかんぬり絵」を作成しました。ぬり絵は小さな子供たちにも、白山手取川ジオパークのことを少しでも知ってもらうために、産学連携協定を締結しているイオンモール白山と共同して制作したものです。

こびとづかんのコビト「かくれももじり」の背景に白山手取川ジオパークの名所を入れて、子供達にはぬり絵を楽しみながら、白山手取川ジオパークの名所を知ってもらうという思いで制作しています。ぬり絵は、白山市の各幼稚園、保育園、児童施設にも寄贈しています。

本学は、地域と連携し活動することで学生の育成だけでなく、地域の方々に評価していただけるよう、地域社会に貢献し連携を深めています。

それを踏まえ、2023年度以降も金城大学・金城大学短期大学部では、地域連携活動をより一層実施していきます。金城大学／短期大学部との活動を希望される方は、お問合せ先までご連絡ください。

金城の「総合経済」は おもしろい。

データサイエンスなどを駆使した課題解決力を地域経済に応用し、
「持続可能な経済発展」を実現する総合的なカリキュラム。
あらゆる企業で期待され活躍できる人材を養成。

総合政策学部 総合経済学科

2024(令和6)年4月 開設予定(設置構想中) 予定であり、内容は変更となる場合があります

(仮称)

入学定員

150人

(予定)

環境・健康分野等の
アプローチから

地域の総合的な
経済発展を学ぶ

POINT

1

全国の私立大学で最大規模の連携企業数!
「連携企業75社」との実践的な
演習とインターンシップで

在学中から
企業とつながる

POINT

2

充実の公務員養成
プログラム、
資格対策講座等を
開講

POINT

3

金城大学 総合政策学部 総合経済学科(仮称) 学びのイメージ

経済学 経営学

- SDGs
- 地域経済
- 地域ブランド
- ベンチャービジネス
- ビジネス
イノベーション

社会学

- 環境への展開
- カーボンニュートラル
 - ピオトープ
 - 環境マネジメント

健康への展開

- 健康増進
- QOL
- アンチエイジング

情報リテラシー

- データサイエンス
- AI
- IoT
- DX
- ビッグデータ

連携企業での実践

- 連携企業75社とPBL(課題解決型)学修、
インターンシップ

金城大学

金城大学 新課程設置プロジェクト

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200

TEL/076-276-4400(代表) FAX/076-275-4316

E-mail/hops@kinjo.ac.jp https://www.kinjo.ac.jp/ku/

人間社会*

科学部

社会学科

子ども教育保育学科*

医療健康

学部

理学療法学科

作業療法学科

看護学部

看護学科

公衆衛生看護学専攻科

大学院(総合リハビリテーション学研究所)

※2023年4月より学部および学科名称を変更

お問い合わせ

金城大学 地域包括連携センター/金城大学短期大学部 地域連携・貢献センター
〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地(笠間キャンパス)
TEL:076-276-4400(大学代表)/076-276-4411(短大代表)
E-mail:souki@kinjo.ac.jp

2023年3月発行